

1. Protocol

RS-232C 準拠/RS-485 (Half Duplex) 準拠

Start Bit	1
Stop Bit	1
Data Bit	8
Parity	Even
Data Rate	1200,2400,4800,9600 bit per second 可変
Code	ASCII
Terminate	CR LF

2. Write command

マルチビューワ (DMV-441B) が Menu を表示している状態ではコマンドを受け付けません。
「MENU+CR,LF」を返します。

2-1. Answer

「GO+CR,LF」	正常受信、正常実行
「GN+CR,LF」	正常受信であるが MODE が違うため実行しない
「E 0+CR,LF」	Framing error
「E 1+CR,LF」	Parity error
「E 2+CR,LF」	Overrun error
「E 3+CR,LF」	Command error
「MENU+CR,LF」	Menu 状態
「LOCK+CR,LF」	Lock 状態
「ALARM+CR,LF」	Alarm 状態

2-2. Command

2-2-1. アラーム関連

2-2-1-1. 「ADOF+CR,LF」 (Alarm Display Off)

ALARM DISPLAY の設定を【OFF】にします。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-2. 「ADON+CR,LF」 (Alarm Display On)

ALARM DISPLAY の設定を【ON】にします。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-3. 「ADTnnn+CR,LF」 (Alarm Duration Time)

ALARM DURATION TIME の設定をします。

nnn は時間で単位は、秒です。設定範囲は【001】～【999】秒です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-4. 「AICB+CR,LF」 (Alarm Input Contact Break)

ALARM INPUT CONTACT の設定を【BREAK】にします。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-5. 「AICM+CR,LF」 (Alarm Input Contact Make)

ALARM INPUT CONTACT の設定を【MAKE】にします。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-6. 「AME+CR,LF」 (Alarm Mode External)

ALARM MODE の設定を【EXT.】にします。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-7. 「AMI+CR,LF」 (Alarm Mode Internal)

ALARM MODE の設定を【INT.】にします。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-8. 「ARB+CR,LF」 (Alarm Return Before.)

ALARM RETURN の設定を【BEFORE】にします。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-9. 「ARF+CR,LF」 (Alarm Return Fix)

ALARM RETURN の設定を【FIX】にします。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-2. ボーダーライン (分割画面時の境界線) 設定

2-2-2-1. 「BLB+CR,LF」 (Border Line Black)

BORDER LINE の設定を【BLACK】にします。

2-2-2-2. 「BLW+CR,LF」 (Border Line White)

BORDER LINE の設定を【WHITE】にします。

2-2-3. カメラチャンネル選択

2-2-3-1. 「C01+CR,LF」～「C04+CR,LF」 (Camera ch.1～4)

カメラのチャンネル No. 1～4 を選択します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと Alarm 状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「GN+CR,LF」を返し強制解除をしません。

Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-3-2. 「CQ1+CR,LF」 (Camera 4 分割)

カメラの 4 分割画面を選択します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと Alarm 状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「GN+CR,LF」を返し強制解除をしません。

Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-3-3. 「CAS+CR,LF」 (Camera Auto Sequence)

オートシーケンスのカメラ切換えを選択します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと Alarm 状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「GN+CR,LF」を返し強制解除をしません。

Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-4. 自動切換え時間設定

2-2-4-1. 「CASTnnn+CR,LF」 (Camera Auto Sequence Time)

AUTO SEQ. TIME の設定をします。

nnn は時間で単位は、秒です。設定範囲は【001】～【999】秒です。

2-2-5.コネクタ入力設定

2-2-5-1.「CCA+CR,LF」 (Connector Connect Alarm)

REMOTE IN の設定を【ALARM】にします。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-5-2.「CCR+CR,LF」 (Connector Connect Remote)

REMOTE IN の設定を【REMOTE】にします。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-6.タイトル関連

2-2-6-1.「CA01*****+CR,LF」～「CA04*****+CR,LF」

(Character title channel 1～4)

各チャンネルのタイトルキャラクタを設定します。

タイトルの文字長さは10文字なので10文字未満の場合は、スペース文字を設定してください。

*印はキャラクタで別紙のASCII Code 表を参照してください。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-6-2.「CTFON+CR,LF」 (Character Title Full On)

TITLE FULL SCREEN の設定を【ON】にします。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-6-3.「CTFOF+CR,LF」 (Character Title Full Off)

TITLE FULL SCREEN の設定を【OFF】にします。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-6-4.「CTQON+CR,LF」 (Character Title Quad On)

TITLE QUAD SCREEN の設定を【ON】にします。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-6-5.「CTQOF+CR,LF」 (Character Title Quad Off)

TITLE QUAD SCREEN の設定を【OFF】にします。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-6-6.「CX01nn+CR,LF」～「CX04nn+CR,LF」 (Character title position X座標)

各チャンネルの TITLE POSITION のX座標 (横) を設定します。

nnは座標値で範囲は、【01】～【15】です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-6-7.「CY01nn+CR,LF」～「CY04nn+CR,LF」 (Character title position Y座標)

各チャンネルの TITLE POSITION のY座標 (縦) を設定します。

nnは座標値で範囲は、【01】～【12】です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-7.画面ロック

2-2-7-1.「LOF+CR,LF」 (Lock Off)

フロントスイッチのロック状態を解除します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-7-2. 「LON+CR,LF」 (Lock On)

フロントスイッチにロックをかけ操作を不可能にします。

また、RS-232C コマンド、リモートによるチャンネル切換えも受け付けません。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-8. ライブ チャンネル

2-2-8-1. 「LS01L+CR,LF」～「LS04L+CR,LF」 (Live channel Sequence ch.1～4 Live)

LIVE CHANNEL の各チャンネルの設定を【LIVE】にします。

2-2-8-2. 「LS01S+CR,LF」～「LS04S+CR,LF」 (Live channel Sequence ch.1～4 Skip)

LIVE CHANNEL の各チャンネルの設定を【SKIP】にします。

2-2-8-3. 「LSQ1L+CR,LF」 (Live channel Sequence Quad Live)

LIVE CHANNEL のQUAD の設定を【LIVE】にします。

2-2-8-4. 「LSQ1S+CR,LF」 (Live channel Sequence Quad Skip)

LIVE CHANNEL のQUAD の設定を【SKIP】にします。

2-2-9. 電源投入時画面設定

2-2-9-1. 「SUSC01+CR,LF」～「SUSC04+CR,LF」 (Start Up State ch.1～4)

STARTUP の設定を【CH01】～【CH04】にします。

2-2-9-2. 「SUSCQ1+CR,LF」 (Start Up State Quad)

STARTUP の設定を【QUAD】にします。

2-2-9-3. 「SUSCAS+CR,LF」 (Start Up State Camera Auto Sequence)

STARTUP の設定を【AUTO】にします。

3.Read command

3-1.異常時 Answer

「E 0+CR,LF」	Framing error
「E 1+CR,LF」	Parity error
「E 2+CR,LF」	Overrun error
「E 3+CR,LF」	Command Error

3-2.Command

3-2-1.アラーム関連

3-2-1-1.「RAD+CR,LF」 (Read Alarm Display)

ALARM DISPLAY の設定値を返します。

「ADOF+CR,LF」	【OFF】
「ADON+CR,LF」	【ON】

3-2-1-2.「RADT+CR,LF」 (Read Alarm Duration Time)

ALARM DURATION TIME の設定値を返します。単位は秒です。

「ADT 0 0 1+CR,LF」～「ADT 9 9 9+CR,LF」 【001】～【999】

3-2-1-3.「RAIC+CR,LF」 (Read Alarm Input Contact)

ALARM INPUT CONTACT の設定値を返します。

「AICB+CR,LF」	【BREAK】
「AICM+CR,LF」	【MAKE】

3-2-1-4.「RAM+CR,LF」 (Read Alarm Mode)

ALARM MODE の設定を返します。

「AME+CR,LF」	【EXT. 】
「AMI+CR,LF」	【INT. 】

3-2-1-5.「RAR+CR,LF」 (Read Alarm Return)

ALARM RETURN の設定を返します。

「ARF+CR,LF」	【FIX】
「ARB+CR,LF」	【BEFORE】

3-2-2.ボーダーライン

3-2-2-1.「RBL+CR,LF」 (Read Border Line)

BORDER LINE の設定を返します。

「BLB+CR,LF」	【BLACK】
「BLW+CR,LF」	【WHITE】

3-2-3.現在のモード

3-2-3-1.「RM+CR,LF」 (Read Mode)

DMV-441B の現在の状態を返します。

「CAS+CR,LF」	オートシーケンスで動作中
「CQ 1+CR,LF」	4 分割画面
「C 0 1+CR,LF」～「C 0 4+CR,LF」	カメラ ch.
「A 0 1+CR,LF」～「A 0 4+CR,LF」	Alarm 保持中 ch.
「MENU+CR,LF」	Menu 表示中

3-2-4.自動切換え時間設定

3-2-4-1.「RCAST+CR,LF」 (Read Camera Auto Sequence Time)

AUTO SEQ. TIME の設定値を返します。単位は秒です。

「CAST001+CR,LF」～「CAST999+CR,LF」 【001】～【999】

3-2-5.コネクタ入力

3-2-5-1.「RCC+CR,LF」 (Read Connector Connect)

REMOTE IN の設定を返します。

「CCA+CR,LF」 【ALARM】

「CCR+CR,LF」 【REMOTE】

3-2-6.タイトル関連

3-2-6-1.「RCA01+CR,LF」～「RCA04+CR,LF」 (Read Character title channel 1～4)

各チャンネルのキャラクタタイトル設定を返します。

「CAnn*****+CR,LF」

3-2-6-2.「RCTF+CR,LF」 (Read Character Title Full screen)

TITLE FULL SCREEN の設定を返します。

「CTFON+CR,LF」 【ON】

「CTFOF+CR,LF」 【OFF】

3-2-6-3.「RCTQ+CR,LF」 (Read Character Title Quad screen)

TITLE QUAD SCREEN の設定を返します。

「CTQON+CR,LF」 【ON】

「CTQOF+CR,LF」 【OFF】

3-2-6-4.「RCX01+CR,LF」～「RCX04+CR,LF」

(Read Character title position X座標 channel 1～4)

各チャンネルの TITLE POSITION のX座標 (横) 設定値を返します。

「CX0101+CR,LF」～「CX0415+CR,LF」 【01】～【15】

3-2-6-5.「RCY01+CR,LF」～「RCY04+CR,LF」

(Read Character title position Y座標 channel 1～4)

各チャンネルの TITLE POSITION のY座標 (縦) 設定値を返します。

「CY0101+CR,LF」～「CY0412+CR,LF」 【01】～【12】

3-2-7.画面ロック

3-2-7-1.「RL+CR,LF」 (Read Lock)

Lock の状態を返します。

「LON+CR,LF」 Lock On

「LOF+CR,LF」 Lock Off

3-2-8.ライブ チャンネル

3-2-8-1.「RLS01+CR,LF」～「RLS04+CR,LF」 (Read Live channel Sequence ch.1～4)

LIVE CHANNEL の各チャンネルの設定を返します。

「LSnnS+CR,LF」 【SKIP】

「LSnnL+CR,LF」 【LIVE】

3-2-8-2. 「RLSQ1+CR,LF」 (Read Live channel Sequence Quad)

LIVE CHANNEL の QUAD の設定を返します。

「LSQ1S+CR,LF」 **【SKIP】**

「LSQ1L+CR,LF」 **【LIVE】**

3-2-9.電源投入時画面設定

3-2-9-1. 「RSUS+CR,LF」 (Read Start Up State)

START UP STATE の設定を返します。

「SUSC01+CR,LF」～「SUSC04+CR,LF」 **【CH01】～【CH04】**

「SUSCQ1+CR,LF」 **【QUAD】**

「SUSCAS+CR,LF」 **【AUTO】**

4.ご注意

Command の発行と同時に DMV-441B のフロントスイッチを操作されますと誤った Answer を返すことがあります。

Command の発行を連続で行う場合 100mseconds.以上の間隔をあけて下さい。

Title キャラクタ設定 (CA Command) の発行を連続で行う場合 500mseconds.以上の間隔をあけて下さい。

RS-485 で使用の場合 Command の先頭に Slave Address の番号を付けます。

Answer Back の先頭にも Slave Address の番号が付きます。

5.変更履歴

2011.05.19 コマンド表記を分類別に分ける。

2017.11.13 ASCII Code 表 ‘ー’ 02BH を 02DH に修正

ASCII Code 表 (16進)

SPACE	020H	a	061H	タ	0C0H
		b	062H	チ	0C1H
:	03AH	c	063H	ツ	0C2H
<	03CH	d	064H	テ	0C3H
>	03EH	e	065H	ト	0C4H
—	02DH	f	066H		
.	02EH	g	067H	ナ	0C5H
/	02FH	h	068H	ニ	0C6H
		i	069H	ヌ	0C7H
0	030H	j	06AH	ネ	0C8H
1	031H	k	06BH	ノ	0C9H
2	032H	l	06CH		
3	033H	m	06DH	ハ	0CAH
4	034H	n	06EH	ヒ	0CBH
5	035H	o	06FH	フ	0CCH
6	036H	p	070H	ヘ	0CDH
7	037H	q	071H	ホ	0CEH
8	038H	r	072H		
9	039H	s	073H	マ	0CFH
		t	074H	ミ	0D0H
A	041H	u	075H	ム	0D1H
B	042H	v	076H	メ	0D2H
C	043H	w	077H	モ	0D3H
D	044H	x	078H		
E	045H	y	079H	ヤ	0D4H
F	046H	z	07AH	イ	0A8H
G	047H			ユ	0D5H
H	048H	ア	0B1H	エ	0AAH
I	049H	イ	0B2H	ヨ	0D6H
J	04AH	ウ	0B3H		
K	04BH	エ	0B4H	ラ	0D7H
L	04CH	オ	0B5H	リ	0D8H
M	04DH			ル	0D9H
N	04EH	カ	0B6H	レ	0DAH
O	04FH	キ	0B7H	ロ	0DBH
P	050H	ク	0B8H		
Q	051H	ケ	0B9H	ワ	0DCH
R	052H	コ	0BAH	ン	0DDH
S	053H			ツ	0AFH
T	054H	サ	0BBH	ヤ	0ACH
U	055H	シ	0BCH	ユ	0ADH
V	056H	ス	0BDH	ヨ	0AEH
W	057H	セ	0BEH	ア	0A7H
X	058H	ソ	0BFH	オ	0ABH
Y	059H			ゝ	0DEH
Z	05AH			。	0DFH